



運動会の参観、ご参加、ありがとうございました。

10月21日(土)、秋晴れの絶好の運動会日和となり、令和6年度の運動会を開催しました。

開会式では私から『①勝負には勝敗がつきものですが、保護者や地域の皆様は、みんなが元気に一所懸命やっている姿を見に来ています。最後まで全力で競技を行いましょう ②なかまが応援してくれると力が発揮できるものです。なかまが頑張っている姿を応援し、しっかりと拍手しましょう』といった話をしました。

<短距離走>

1年生50m、2、3年生80m、4~6年生100mの短距離走をしました。各学年、1つの組が3~4人となってレースを行いました。子どもたちは最後まで全力で走り切り、満足した様子を見せていました。1年生は初めての運動会で緊張していたと思いますが、しっかりとスタートを合わせ50mを走り切っていました。16人がまとまって音楽に合わせ、少しずつスタート位置まで移動している姿が微笑ましかったです。高学年の子は、あっという間に100mを駆け抜け、日々の成長を感じました。ゴール前を中心に、観客席では、たくさんの保護者、地域の皆様が声援、拍手を送ってくださいました。子どもたちには励みになり、本当にうれしかったことと思います。短距離を走るのが苦手な子もいますが、どの子も力を抜くことなくゴールまで一所懸命走っている姿が印象的でした。途中で足を取られ、転倒しそうになっている子や転倒してしまった子もいましたが、最後まで走り切ろうと頑張った姿が時に印象に残りました。。放送係の子が、なかまが走っている姿を見て、アドリブで声援を送っている姿もあり、なかまが精いっぱい力を出せるように、盛り上げようと放送している姿が素敵でした。

<団体競技>

低学年(1,2年生)「大玉ころりん」では、自分の身長よりも大きなボールを2人のペアでうまく操っていました。観客席からは、大きな拍手が起こっていました。中学年(3,4年生)「台風の日」では、竹の棒の端を2人で持って息を合わせ、相手のことを気かけながら走っている様子を感じ取れました。高学年(5,6年生)「綱引き」は、力が入った好勝負となりました。最後まで腰を落とし、立ち上がらないように粘っていたチームが勝利を収めたように思います。競技を行う以上、必ず勝敗がつきますが、何よりもみんなが力を抜かず、全力で1つ1つの競技を頑張れたことが良かったと思います。そして、なかまが一所懸命やっている姿に、「がんばれー」とみんなが声援を送れたことも、心やさしく良かったと思います。



自分のチームだけでなく、相手のチームを含め、なかまのことを応援している子どもたちがたくさんいたこともうれしく感じました。

<地域ふれあい競技>

今年度も、プログラム後半に「地域ふれあい競技」として、「玉入れ」と「水沢音頭の踊り」を取り入れました。「玉入れ」では、子どもたちと一緒に童心に戻って競技していただいた保護者、地域の方々がたくさんみえました。子どもたちの



ことを気遣いながらも、多くの球をかごに入れようと競技に集中されていた方もみえ、微笑ましく思いました。

「水沢音頭」では、「茶葉〜ズ(ちゃば〜ず)」の皆様が大変お世話になりました。子どもたちと保護者、地域の皆様が一体となって、ふるさとの情景を歌った「水沢音頭」を踊ることができ、有意義なひと時を過ごすことができました。水沢地区地域マネージャー様には、和太鼓のリズムも入れていただき、参加者の全員踊りで盛り上がりしました。

閉会式では、私から「真剣に全力を尽くしている皆さんの姿は、本当に素晴らしかったです。また、それを応援する皆さんの姿も素敵でした。自分が頑張ることはもちろん大切ですが、頑張っているなかまを一所懸命応援する姿、気持ちは、これから先、大きくなって生きていく中でも、とても大切なことだと思います」とも話しました。

今回の運動会を通じ、子どもたちには、保護者、地域の皆様と一緒に玉入れをしたり、水沢音頭を踊ったりしたことがとてもうれしく、印象深く残ったようでした。また、保護者や地域の皆様には、運動会后、テント、机やイスの片付け、遊具の固定ビニールテープ外し、サッカーゴールの移動等、大変お世話になり助かりました。心の温かさを感じました。本当にありがとうございました。

(文責 北住 昌文)